

## 第10回府中市都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）推進協議会 会議録（要旨）

- 開催年月日 令和8年2月24日（火） 午後3時から午後3時50分まで
- 開催場所 府中市役所おもや4階会議室
- 出席委員等 10名（他代理4名・名簿順）  
森本章倫委員、大門創委員、青山琢人委員、市野将英委員、嶋澤俊之委員、桂健太郎委員、野田聡委員、中原幹委員（代理佐々木氏）、倉科大地委員（代理名取氏）、濁澤雅委員、三浦裕介委員（代理小出氏）、高橋哲哉委員（代理石田氏）、山岡法次委員、野口勉委員
- 事務局  
田中副市長、高橋財産活用課公有地担当主幹、田代地域安全対策課長、轟都市整備部次長兼道路課長、三輪計画課交通企画担当主幹、小野財産活用課公有地担当主査、出縄計画課都市計画担当主査、日原まちづくり拠点整備推進本部長、高島分倍河原駅周辺整備担当主幹、山田分倍河原駅周辺整備担当主査、田口分倍河原駅周辺整備担当主査、薄井主任、関事務職員、岡村事務職員
- 傍聴者 1名
- 議事次第
  - 1 開会
  - 2 議題
    - (1) 施策の取組状況について（ステップ1）
    - (2) 施策の取組状況について（ステップ2）
  - 3 その他

## ■会議概要

### 1 開会

【事務局】 定刻になりましたので、始めさせていただきます。皆様、本日は大変お忙しいところ、府中市都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）推進協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

開会に先立ちまして、府中市の田中副市長よりご挨拶申しあげます。  
【副市長】 委員の皆様、こんにちは。副市長の田中でございます。本日はお忙しいなかご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃より分倍河原駅周辺地区のまちづくりにご理解とご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。前回の本協議会では、交通戦略における各施策の具体的な取組状況や、取組みにあたっての課題について皆様にご議論いただいたところでございます。現在、分倍河原のまちづくりにおきましては、駅周辺の整備及び駅の改良について、実施設計を行うとともに、事業用地の取得を進めています。また、これまで本協議会でもご意見がございました自転車駐車場の移転先が決定するとともに、本事業を計画的に実施していく財源を確保するため、新たに基金を新設することとなりました。

本市といたしましては、引き続き皆様にご協力いただきながら各施策を進めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【事務局】 続きまして、委員の委嘱についてお知らせいたします。人事異動等の関係により、一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会の小池委員が高橋委員に代わられましたので、ご報告申し上げます。委嘱状につきましては、机上配布をもちまして、委嘱状の伝達に代えさせていただきますのでご了承ください。

ここで事務局からお願いがございます。議事録作成のため、本協議会の録音や記録用の写真撮影をさせていただきますので、ご了承ください。それでは、議事進行につきまして、森本会長にお願いしたいと思います。森本会長よろしくお願いいいたします。

【会 長】 ただいまから、第10回府中市都市・地域交通戦略推進協議会を開会いたします。まずは、本日の委員の出席状況について、事務局から報告をお願いします。

(事務局より出席状況の報告)

【会 長】 続きまして、傍聴者の有無について事務局から報告をお願いします。

【事務局】 本日の会議につきましては、2月15日号「広報ふちゅう」にて周知し、1人の傍聴希望者がおりました。以上でございます。

【会 長】 傍聴希望者がおりますので、傍聴を許可してよろしいでしょうか。

(異議なし)

【会 長】 それでは、傍聴者の入室までしばらくお待ちください。

(傍聴者の入室)

## 2 議題

【会 長】 それでは、次第2「議題」に移らせていただきます。進め方としましては、まず議題（1）と（2）について事務局から一括して説明いただいたのち、最後に意見をいただきたいと思っております。それでは、事務局から説明をお願いします。

（議題（1）と（2）について、配布資料に基づき事務局より説明）

【会 長】 それでは皆様のほうから質問や意見をお受けしたいと思っております。

【委 員】 資料4の施策番号【1-3】駅へのアクセス道路の拡幅・整備が多少遅れているとのことでした。この道路は京王線の踏切と繋がっており、色々と検討されているとは思いますが、踏切の方向性はどのぐらいまで決まっているのでしょうか。

【事務局】 京王線をまたぐ踏切について、東西自由通路の新設をしますが、踏切の方向性については鉄道事業者様と調整中でございます。

【委 員】 以前もそのような回答でどこまで進んでいるか見えにくい状況でした。もし踏切の廃止が実現できないとなると何が問題なのでしょうか。また、踏切を廃止することに対しての障害ははっきりしているのでしょうか。

【事務局】 踏切については、京王電鉄様と廃止に向けて検討、協議を行っていくということで覚書を結んでおりますが、今後、廃止となるにしても、東西自由通路や駅前広場の整備後である令和18年度以降となってきます。まずは整備に向けた具体的な検討を各鉄道事業者様と行っておりますので、踏切についての検討は具体的には進んでおりません。

【委 員】 踏切を廃止するという事は、京王電鉄様と一致しているのでしょうか。

【事務局】 廃止に向けて検討していくという状況で、現時点で必ずしも廃止とするかどうかは決まっている状況ではございません。

【会 長】 一定程度前に進んでいる施策もあれば、若干遅れている部分も多々ありますので、先ほどの質問でもありましたが、できるだけスムーズに進めていくことがこの地域全体の便益をあげるために極めて重要ですが、一方で関係機関との調整を十分にしながら、できるところからやっていくしかないと思っております。何か懸念点あるいは疑問点があれば、情報はできるだけ共有したほうがよいと思っておりますので、何かございますでしょうか。

【委 員】 資料2と資料4を通じて、評価が○と△の施策がありますが、△の施策は、共通して補償算定や用地取得が関係していると思っております。補償算定は、先ほど事務局から説明がありました通り件数割合で、用地取得は面積割合ということですが、補償算定と用地取得の状況を差し支えない範囲で教えていただければと思います。

【事務局】 補償算定と用地取得の状況についてご説明いたします。初めに、資料2の施策番号【1-7】と【2-1】の市道4-139号とかえで通りについては、全7件中4件の建物の評価、補償算定が完了している状況です。具体的に権利者の方と用地取得、契約に向けた協議に入っており、協議がまとまり次第契約という流れとなり、直近で1件の契約締結を予定しております。残りの3件は踏切の南側の方で、借地権境界が決まっ

ていない箇所がございまして、借地権境界の決定をするための測量、および地権者との協議を進めており、少し時間を要しているところでございます。こちらも令和7年度を目途に借地権境界を確定して次のステップに移る見通しでございます。次に、施策番号【2-2】の自転車駐車場の移転について、補償算定が完了し、移転候補地の方と契約に向けた具体的な協議を進めており、令和8年度早期に契約できるような見通しで進めているところでございます。資料4の施策番号【1-6】の溜まり空間については、全10件の物件がございまして、補償算定は3件完了しております。残りの7件のうち、2件は、補償算定のための調査に対して同意をいただけておらず、まずは補償概要や事業説明を丁寧に行い、早期に理解を得られるように進めているところでございます。残りの5件は調査の同意が得られまして、令和8年度前半に調査、補償算定に移っていく見通しでございます。補償算定が終わった箇所から随時具体的な協議に移り、協議がまとまり次第、契約、用地取得と進めてまいります。最後に施策番号【1-3】の駅へのアクセス道路については、すべての権利者から補償算定のための調査の同意は得られており、令和8年度早々に全物件の調査が完了する見通しとなっております。8年度中に補償算定、具体的な協議を行い、協議がまとまり次第、契約となります。実際に、補償算定が終わりまして、補償内容の説明、価格の提示を行った後に具体的な移転に向けた協議が始まるため、協議の中で課題が出てくると思いますが、個々の事情に応じて丁寧に対応していき、早期に契約できるよう進めてまいりたいと思います。

【委員】 詳細に教えていただきありがとうございました。調査の同意を得られ補償算定をして、補償算定結果に同意が得られれば用地取得という流れであると思いますが、用地取得がスムーズにいけば、資料2と資料4のピンク色の矢印で示してある工事が、今のスケジュール通りにいくということでしょうか。また、施策番号【1-6】の溜まり空間については、物件7件のうち5件は調査の同意を得られており、残りの2件はまだ同意を得られていないということで、この2件が工事をスムーズに開始する上でネックになっているという認識でよいのでしょうか。

【事務局】 駅前溜まり空間の2件の方は、調査の同意を得られないことには次の段階に進めないため、優先して対応し丁寧に説明を行い早期に同意を得られるよう考えております。また、今の段階では用地取得は工事に間に合うように進めているところでございます。補償算定が終わり具体的な話になった際に課題が出てくると思いますので、1つずつ解決して進めていきたいと考えております。

【会長】 その他にございますでしょうか。今日の議題については、皆様にご確認いただき、我々も状況を把握しながら、できるだけ前倒しで進めていただきたいと思います。では、議題については以上とします。続きまして、次第3「その他」について、事務局から何かありますか。

### 3 その他

【事務局】 事務局から3点お知らせします。

まず、1点目として、本事業の概算事業費につきましては、基本設計完了時点の全体事業費として、266億3,000万円を見込んでおりますが、この度、本事業を計画的に実施していく財源を確保することを目的に、分倍河原駅周辺整備基金を新設しましたのでご報告いたします。

次に、2点目として、3月15日と16日に片町文化センターでオープンハウスを開催いたします。内容としましては、分倍河原駅周辺地区まちづくり誘導計画(案)のほか、商店街での荷捌き車両や自転車の押し歩きの取組み、自転車駐車場の移転先についても広く周知を行います。

最後に、3点目として、次の開催についてです。第11回の開催は、今年の8月頃を目途に開催したいと考えております。日時等につきましては、改めてお知らせさせていただきますので、よろしく願いいたします。以上でございます。

【会長】 ありがとうございます。皆様から今のご説明につきまして何かございますでしょうか。3月15日、16日にオープンハウスを開催するということですが、できるだけ皆様に周知をしてご理解いただくということが大変重要でございますので、関係機関の皆様は周知にご協力いただき、ご興味のある方は是非来ていただければと思います。それでは、最後に、全体を通してご発言やご報告はございますでしょうか。

【委員】 先ほど話がありましたが、全体事業費が266億円ということで、昨今の物価が急上昇している中で、見直す必要があると考えておりますでしょうか。それとも、当初の事業費で進めていこうと考えておりますでしょうか。

【事務局】 事業費につきましては、基本設計完了時点で先ほどの概算事業費を見込んでおりますが、令和7年度から令和9年度にかけて実施設計を行っておりますが、その実施設計の中で、設計内容の精査や見直しもございます。また、委員がおっしゃった物価上昇も年に10%近く上がっているため、物価上昇分も実施設計の中で鑑みながら、分倍河原の課題解決のために必要な施策の実現に向けて検討を進め、必要に応じて事業費の見直しをしていきたいと考えております。

【委員】 ありがとうございます。期待します。

【会長】 他にございますでしょうか。それでは、本日の会議は以上でございます。以上をもちまして、府中市都市・地域交通戦略(分倍河原駅周辺地区)推進協議会を閉会させていただきます。皆様ありがとうございます。

以 上